

10月28日(土)・29日(日) 開催

見て、食べて、盛り上がり。

2023 なかの東北絆まつり

東北各県の県人会や中野区町会連合会、中野区商店街連合会などから構成された実行委員会
が主催する、中野の秋の風物詩。11年前に震災復興支援のため、「東北復興大祭典なかの」として
スタート。今年は「なかの東北絆まつり」と名称を変え、開催します。
今号では、過去の写真で祭りの様子を紹介します。

復興協働担当 / 4階

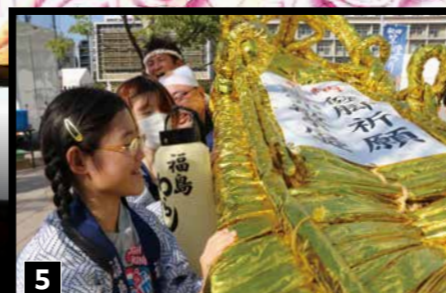
☎(3228)7868

FAX(3228)5647



1

1 2 3 ねぶた運行・パレードの様子。本場の「東北絆まつり」で使用された中型ねぶた1台と小型ねぶた4台が運行予定
4 東北各市町の祭りなどが楽しめるステージ(写真は「仙台すずめ踊り」) 5 「福島わらじまつり」の金わらじの展示。フोटスポットにも
6 「秋田竿燈まつり」。額や腰などで高さ12m、重さ50kgの竿燈を操る姿は圧巻 7 8 グルメの他に新鮮野菜や地酒など特産品の販売も



5



6



2



3



4



7



8

4つの会場で楽しめます

A会場 ステージ演目

東北各市町(青森市、秋田市、盛岡市、仙台市、山形市、福島市、黒石市、田子町)の祭り、中野区の郷土芸能など

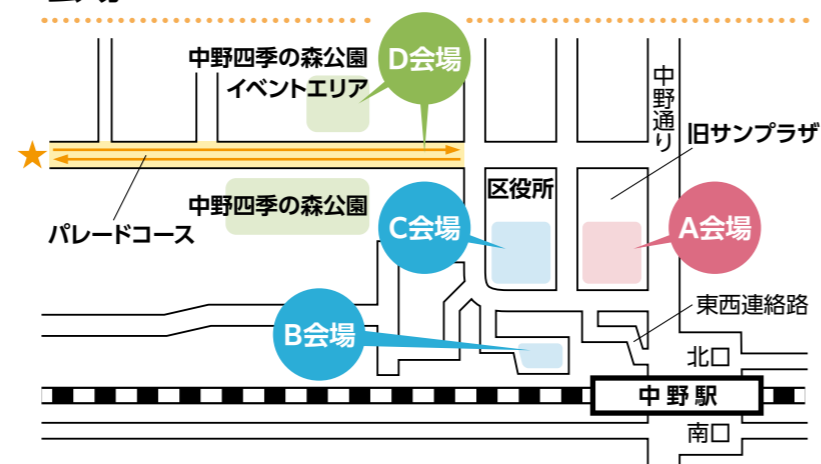
B・C会場 グルメコーナー・震災復興祈念展

区役所1階区民ホールでは、東日本大震災の記憶風化防止コーナーやお子さんも楽しめるワークショップなど

D会場 ねぶた運行・パレード、展示など

「秋田竿燈まつり」の妙技披露やねぶた・金わらじの展示など。ねぶた運行は右地図★地点で折り返します

会場MAP



絆をより強く

東日本大震災の復興支援のため、2012年から開催してきた「東北復興大祭典なかの」。今年は、その趣旨を引き継ぎつつ「東北と中野区の絆をより強固に」という思いも込め、改称しました。

大迫力のねぶた運行や東北各市の祭りを楽しめるパレードは毎年大盛況。東北の文化に触れるだけでなく、祭りに集まった人・団体がつながり、絆を深める機会になったらうれしいです。

中鉢泰平さん
実行委員長で
中野区宮城県人会の会長



当日更に楽しめる まつり情報

ねぶた運行の時は跳人と一緒に「ラッセーラ」の掛け声を

跳人は太鼓や笛などのリズムに合わせて「ラッセーラ」と言いながら跳ねる踊り手。掛け声の語源は「(ろうそくを)出せ出せ」がなまり、「ラッセラッセ」になったと言われています(諸説あり)。



当日一緒に跳ねよう! 跳人を大募集

跳人としてパレードに参加しませんか。希望する方は、開催日当日に区役所前で受け付けを。詳しくは、[区HP](#)をご覧ください。

約50店舗が大集結! ご当地グルメを堪能

ずんだ餅やいも煮など、さまざまな東北の味を楽しめます。C会場(2ページ右下地図参照)には座って食べられるエリアも。

動画で事前に祭りの雰囲気 味わおう

中野区公式YouTubeチャンネルで、過去の様子をご覧ください。



▲こちらからアクセス

次のページもご覧ください